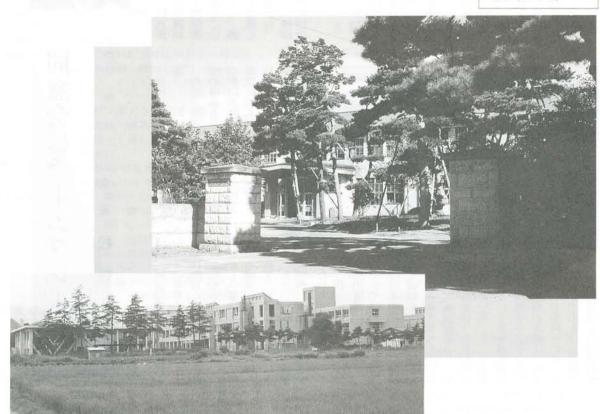
## 米沢嶼讓館同窓会会報

### 第 23 号

発行/平成6年8月12日 米沢興譲館同窓会 会報編集委員会

当会報の題字は、第 19号から奥山徹石氏 (昭28年卒)の揮毫に よるものです。



持ちにかわりはないものとおもっている

青春時代の数ページをつくってくれた母校へ思いをはせる気

# 旧懐談に花さいて

四月から興譲館に校名を戻している。
○八年にあたる。私達は米沢西高で受験、入学を許可されたが目前である。明治になって学校令がしかれてから今年は一が目前である。報治になって学校令がしかれてから今年は一

同窓生それぞれ思い出はちがっても、我々の多感で貴重なた。日年前に完成したという木の香の残る校舎に注ぐ春の陽た。二年前に完成したという木の香の残る校舎に注ぐ春の陽た。昭和三十一年のことであった。昭和三十一年のことであった。

-成六年同窓会・懇親会

けますよう御期待申しあげご案内といたします

仲間との語りあいを通して母校への帰属意識を深めていただ

うことのできる初年でもあります。どうかご参集いただき、

なお、長年の念願でありました一つのフロアにゆったり集

実行委員長遠 藤 岩 根(昭三十四年卒)

個人の自覚と責任遂行が

プレーである。会員個人

# 同窓会はチームプ

会 長 松 良 宙

室は罷免され、諸生の数も二〇 の規模も縮小され、堤学神保蘭 主治広は、学館の衰退を憂慮し 人から一二人に減らされた。藩 て隠居の鷹山に意見を求めた。 紅葉」と題する書簡の中でこ のあふりを受けて藩校興譲館 鷹山はその諮問に答え「時雨 天明七年 (一七八七) 財政困

にもこれ無く、又一時に廃るべ きものにもこれ無く、皆漸をもつ 漸は又必ず由る所これ有り候 興廃致す事にて候。その両端 凡そ事は一時に興るべきもの

力も、実に目覚ましいものがあ それに応えて後輩生徒諸君の努 評しても過言ではない。そして 興譲館の現状を見るに、 力と情熱・精励は、前代未聞と 力向上を目指す教職員の一致協 創立一〇八周年を迎える母校 まさに「為せば成る」とい 特に学

う藩校以来の伝統が息づいてい

筆頭に個人プレー種目の活躍は 目立つが、過去のスキー部、 活動においてフェンシング部を 校の宿命もさることながら、部 ただ、進学を主とする普通高

を忘れず、雲雨に会して天に上 がいなめないものがある。 る」と論された鷹山公の気持ち ブ競技種目の不振には寂寥の感 知っている者にとっては、グルー しかし「事は皆漸をもって興 るという蛟竜の如き後輩

たいものである。

やチームの出現を期待

結集して、

う肩書を誇りと思わぬ人 ろう。「興譲館出身」とい 践の状況はどうだろうか。 納入という責任遂行の実 はいない筈。が、年会費 協力体制を築く必要があ やがて迎える藩学創設三 プレーを集積したチーム て組織を上げて充実した 校の隆昌に祝福を送り、 ○○年の記念の年に向け 同窓会の活動は、個人 我々同窓生としては母 球部、

剣道部等々の全盛時代を

## 会 П П ※対高校職員との親善野球試合 平成六年度米沢興譲館同窓会会長 平成六年度総会・大懇親会ご案内 ② 懇親会 午後五時三十分から

中成六年度同窓会・総会・懇親会実行委 野



る



## 興讓館同窓会

平成六年九月十九日(月曜日) グランドホクヨウ (市内金池二丁目) 午後四時から

寅

根



## 不易なるも 谷 のを

昭

痛感し、同時に、本校の輝ける あるだけに、その使命の重さを た時、歴史と伝統に輝く本校で 職の後にという辞令を受けまし 御礼申しあげます。 なるご支援を賜り、 月たった今、一学期に生徒諸君 歴史の一頁を、将来を担う優秀 まる思いをいたしました。四ケ できる感激を覚え、身のひきし な生徒諸君と一緒に綴ることの 充実に対しまして、 本年四月、草壁校長先生ご退 心から厚く 日頃絶大

けた努力、部活動の中での活躍 学んでいる後輩に対する大きな ず、母校・興譲館高校に寄せて 部との緊密な連携は申すに及ば ました東京支部総会に参加させ 具会同窓会総会、七月に行われ があればこそと感じております。 も同窓会の皆様の力強いご支援 期待を実感し、本校の長い歴史 おられる熱い思い、そして現在 ていただきましたが、同窓会本 充実感で一杯であります。これ いる日常の生活、新たな感激と めてお願い申し上げます。 ますので、変わらぬご支援を改 〇八年目の歴史を綴ってまいり 八百余名、力を合わせて本校一 ました。私ども教職員・生徒の の重みを改めて知ることができ 興譲の精神」を実現してくれて これまで五月の県庁・教育委 生徒諸君は、平洲先生ご揮豪

がんばれ!興譲館

おります をもって、学ぶこと専念する若 社会有為の人材たらんとの自覚 命を尊ぶ豊かな心、己を磨き、 れておりますように、自他の生 者を育ててまいりたいと思って めながら、「興譲の精神」に示さ 七百五十余名の

が残してくれた学力の充実に向

かり受けつぎ、興譲館としての ます。それは、本校の伝統をしっ 生徒諸君、その瞳は輝いており きを終生持ち続ける人間に育っ ている若者の瞳であり、この輝 自覚と使命を体しながら学習し てほしいと願っております。 皆様の後輩、

の学則によって、学問する者の

んでおります。二十一世紀を創 心構えを自覚しながら学業に励

導者たるべく、学力の充実に努 り出す主役として、特にその指

> ります部活動の振興、文武両道 とともに、本校の教育目標であ 限界に挑戦する体験に意義があ ると考えます。その意味で、自 がら、自分の可能性に、自分の 両道の実践は、学習に専念した での成果が期待されます。文武 活動しており、今後の発表の場 化部もそれぞれの分野で熱心に 部各部とも興譲館生らしい活躍 インターハイに駒を進めました。 の実践でも成果をあげておりま 分と闘いながら、仲間と苦しみ であったと思っております。文 野球部は甲子園予選で三回戦ま 女とも県制覇を成し遂げ、 で勝ち進みました。その他運動 本年はフェンシング部が男 富山

徒諸君が、この不易なるものを 年の歴史と伝統の中に、それぞ のがあるはずです。本校一〇八 すが、変わらぬもの、不易なも 私たちの後をうけ継ぐ者として 十一世紀の担い手として、また、 らぬご指導、ご鞭撻を賜ります 存ですので、同窓会の皆様の変 社会に出るよう育ててまいる所 創造力を身につけた若者として しっかり継承し、豊かな感性と であり、指導者たらんとする生 も多様になっていると言われま 大きな期待を寄せております。 れ脈々と生きていると考えます 私ども、次ぎの世紀の担い手 社会が大きく変化し、価値観

申しあけます 同窓会の更なる発展をお祈り

ようお願い申しあげます。

徒諸君の文武両道の実践に、一

を共にしながら努力している生

## 記念講演ご案内創立一〇八周年記念式 米沢興譲館高等学校

-5 時 米沢興譲館高等学校 平成六年九月十九日 記念式典 講師 記念講演 午前十時から 体育館

昭34年卒

ります。こうした中

で充実した興譲館で

# 興譲館の発展を願

## 前校長 草 郎

して誠にありがとうございまし 様からご厚情ご支援を賜わりま 祥にてご活躍のことと存じます た。心より厚く御礼申し上げま 興譲館在職中は、同窓生の皆 同窓会の皆様には、 益々ご清

時が近づきましたが、盛況の中 創立記念日、同窓生の集いの

と生徒達への励ましがありまし 仙台支部等の席にあっても、そ 史の重みを実感致します。 方々の話には、母校発展の願い れぞれの立場で活躍されている 各支部をはじめ、関西・東京・ いや期待には、 に語られる母校後輩に対する思 生徒諸君には、同窓生の皆 様の支援と愛情に支 興譲館の長い歴

りを持って努力する 興譲館生としての誇 形成者となる自覚と、 とし、社会の有為な ことを、期待し願 教職員も、深い専門 の期待に応え得る素 振興にとりくんでお 性と指導理念をもっ 質を有しております。 て参りました。 (学力向上や部活動 生徒諸君は、 地域

> 援をお願い致したいと存じます 生皆様から母校への変らぬご支 の日々を過ごさせていただきま したことに感謝しながら、同窓

致し、共有した時代をふり返 年の年でありましたが、その年 世話になりました。新採赴任の 時と併せて十一年間興譲館にお の集い実行委員長学年とお聞き 入学の生徒諸君が今年の同窓生 私事になりますが、私は新採 と改称された創立七十周 校名が「米沢興譲館高等 現在の校旗、校歌が制定

学び得ることを幸せ

えられた校風の中に

様のご厚情の手に過ごさせてい 日々の出発と最後を、 ただきましたことに、

のである。謙虚に学び、より深 きてこそ、人材たり得るものな 中に生かしながら社会に貢献で 身を高め学び得たものを実践の であり、学ぶことによって已自 を尽くすべく選ばれてある存在 もって誠を尽くす人材となり得 い思索による広い視野と知恵を が、人々のため、世のために誠 て欲しい した一文の最後です。 興譲館に学ぶ諸君一人ひとり 興譲館校歌を高らかに」 校誌「興譲」の巻頭言として、

改めて感 同窓生皆

> 幸せとしよう。高校時代は自ら 持とう。本校に学び得ることを

謝申し上げます。 たりしております。教職にある

と題 贈り、新しい時代の創造を託し 確信しながら、限りない声援を び合う興譲館生の持つ可能性を 努力しながら、興譲館校歌を高 たいと思います。 である。」 ことを、切に願い期待するもの らかに歌いつづける諸君である である。本校生としての自覚の 生活の中での切磋琢磨によって、 の努力と互いに生活し合う集団 いひたむきさで為すべきことに 目分自身が育てられ向上する時 吾妻連峰を望む広い校地に学

たくましい意志と若々し

会の益々のご発展を、 同窓生の皆様のご多幸と同窓 心よりお



興譲館生であることに誇りを 祈り申し上げます。 

## 松 良 寅

要職 等の大事業等をなしとげられた酒井巌氏が御逝去に にあられ、 和五十五年より六十二年の八年間、 百周年記念行事や、 校舎の全面移転 同窓会長の 

世話いただいた樋口捲三氏も御逝去、ここに同窓会 がんばってこられた、これまた同窓会に対し をお祈り申し上げます。 また、「天命のままに生涯現役」をモット 謹んで哀悼の言葉をささげ お二人の御冥福 大変お にして

戦中派」という言葉があった。 最近あまり聞かなくなったが

人達がしだいに少なくなって その戦中派の青春時代を知る



ありし日の酒井元同窓会長

重ねながら、それぞれ我が道を 物資不足の不自由な時代を、 創意工夫、

試行錯誤を

乾

巌氏である。お二人とも同窓会 口捲三氏と昭和十一年卒の酒井 た大先輩である。 の顧問として、ご協力いただい その典型が昭和十七年卒の樋

の住所を質す電話をいただき、 二か月前に、 知らせる電話をいただいた。 雄氏より樋口捲三氏のご逝去を 去る五月七日、 樋口さんから〇氏 同級の安藤文

なるかなの思いで一杯である。

前同窓会長酒井巌氏が亡くなら

樋口さんのご逝去の

戦後派には到底想像もできな を開くため、現代の、 とする間もなく、 信じて散華して行った。 幾多の惜しい命が大陸に、 右者は、戦後平和が戻ってほっ 僥幸にも生き延びた戦中派の あの魔の太平洋戦争では おのれの新しい生業の道 ひたすら祖国の安泰を 太平洋の空に、 日本の復興の いわゆる 久間をお詫びし東京支部総会の

束して間もない頃の計報であっ おりに参上歓談することをお約 樋口さんは、三菱に追いつけ

とおりである。

時は言うに及ばず、どんなささ 追い越せの意気で、「ワンビシ産 と舌を巻いてその母校愛を絶替 歴代の校長が「興譲館の怪傑 **貴重なご意見を頂戴した。** 援を賜り、その都度壺を心得た いてくださり、物心両面のご支 母校創立八〇周年、 業」の旗印のもと裸一 十一代校長庄司善助氏はじめ いな事でも後輩の頼みを快く聞 人ばなれした大企業を興された。 ○○周年と大きなイベントの 今にして思えば、 九〇周年 一貫で米沢 第

歩んで来た。



樋 口捲 代表取締役 (昭和17年卒業)

2 1 ワンビシ アーカイブズ

れた。喜寿の祝い

された経緯については、 プ」の隆昌発展を盤石なものと 体となって現在の「北陽グルー 転び八起きの忍耐 的なアイデア、 を終えられて間も 欲的な冒険心、 れているが、 その自伝に詳述さ としての業績は、 酒井さんの企業家 ないころである。 心ーそれらが渾然

意 t

気を遣われた。あの老松の毅然 関東町の旧敷地から移植された 井さんの母校愛の象徴である。 としてそびえる姿は、まさに酒 の環境整備に酒井さんは殊の外 数株の松の大木が、 て心から哀悼の意を表した次第 キャンベルの詩の るなら、死ぬことにはならない 同窓会長として弔辞をしたため 白周年記念事業の際、 悠然とそそり立っている。 にもめげず、ひときは鮮やかに というイギリスの詩人トマス・ あとの残る人達の心の中に残 樋口・酒井両顧問の葬儀には 笹野の母校キャンパスには、 一節を引用し 真夏の炎天 新設校舎

では苦しい状況にあるのはまち

とりわけチームプレイの種目

できない理由にはしたくないの ように感じられましたでしょう みましたが、先輩諸氏にはどの 県大会でなかなか上位進出が このような題を敢えてつけて

さが、甘い。甘くなっている。 もっともっと集中、ビシビシやっ てもよいと思う。 、ばって、倒れてもという気迫 生徒自身の心がまえが弱い。 指導者側として、練習の厳し

きりつめられてきている。

それは、年間を通せば大きい

思われるからです。

ですが、毎日の練習が、かなり

けでは片づけられない気がする。 中で、何とかしなければと思う ンターテスト進学体制の強まる がいないことで、単に弱音とだ 今年度から六十五分授業、ヤ

●平成六年度インターハイ に欠ける。

フェンシング男子チーム フェンシング女子チーム (富山) 出場

演劇部に何年がぶりで数名入

三段跳 砲丸投 丹治輝将 柴田勝弘 安孫子聡子

女子リレー 飯塚智子 田代真美 安孫子聡子

戸丸由紀子 中村美奈子 菊地瑞江 00

立っている。 動や、校外研修などの活動が目 部も地味ながら、校内の研究活 習で県のトップを目指し、他の OB会を有する吹研は連日の練 文化部の活動が活発である。

皆様、どうか組織化に向けて努 活動している。 部者があって、毎日にぎやかに OB会未組織の各部の先輩の 体育科 土澤幸雄

●東北高校選手権

フェンシング男・女チーム

ホッケー 男子チーム 水泳 上野英輔 鍛冶順平

一位 フェンシング ホッケー 男子チー 前記、東北大会出場





松田英美

●県高校総体

一 位, 他上位進出ならず 剣道個人 鍛冶順平 ベスト&

## 平成 4 年度 同窓会決算書

収 入

(単位:円)

項		目	当初予算額	予 算 現 額	決 算 額	増 減(△)	備考
繰	越	金	32,283	32,283	32,283	0	
入	会	金	1,855,000	1,855,000	1,855,000	0	7,000円×265名
年	슾	費	1,730,000	1.730.000	1,751,550	21,550	会費1,766,000円 払込手数料14,450円
過 :	年度	収入	0	0	29,000	29,000	平成3年度会費
雑	収	入	22,717	422,717	526,421	103,704	総会残金,預金利子
	計		3,640,000	4,040,000	4,194,254	154,254	

支 出

(単位:円)

~	-	ч					(半位・门)
項		B	当初予算額	予 算 現 額	決 算 額	増 滅(△)	備考
(運	営	費)	(980,000)	(1,002,156)	(919,280)	(△ 82,876)	
会	譏	費	100,000	107,156	107,156	0	役員会
通信	連	絡 費	50,000	65,000	65,000	- 0	通信費
需	用	費	200,000	200,000	117,124	△ 82,876	弔電、封筒印刷、餞別、
人	件	費	630,000	630,000	630,000	0	学校人件費会計へ
(事	業	費)	(2,550,000)	(2,950,000)	(2,828,123)	(△ 121,877)	
総会	助	成金	150,000	150,000	150,000	0	
一般	事	業費	1,840,000	1,240,000	1,191,523	△ 48,477	各支部総会お祝い、旅費
卒業	話	念費	200,000	200,000	200,000	0	われらが滞つくし
表	彰	費	0	0	0	0	
会	報	費	300,000	300,000	226,600	△ 73,400	第22号10,000部
特別	会言	十繰入	60,000	1,060,000	1,060,000	0	同窓会名簿作成基金 60,000 藩学創設三百年準備金 1,000,000
(子	備	費)	(110,000)	(87,844)	(0)	(△ 87,844)	
子	備	費	110,000	87,844	0	△ 87,844	会議費、通信連絡費
	計		3,640,000	4,040,000	3,747,403	△ 292,597	

収入額 4,194,254円 - 支出額 3,747,403円 = 残高 446,851円(次年度へ繰越)

特	別	会	計	前年度末残	預 金	利	子	本年度積立金	本年度末残高
同窓	会名章	年作 月	龙基金	60,000		2,	292	60,000	122,292
藩学倉	引設三	百年	準備金	0			0	1,000,000	1,000,000

	考		年 会	費前	納日	内 訳	表 (単	位:千円	)						
年度	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18-21	計
金額	794	553	328	188	142	118	70	43	21	15	12	10	5	12	2,311

### 監 査 報 告

平成5年9月3日校長室において監査を行った結果、金銭出納簿、予算差引簿、証拠書類等の事務処理はいずれも適正に処理されていることを認めます。

平成5年9月19日

同窓会監事 橋 本 桂 吉 印 加 藤 敏 夫 印 金 啓一郎 印



## 平成5年度 同窓会収支予算

収 入

(単位:円)

項		目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
繰	越	金	446,851	32,283	414,568	前年度繰越金
入	会	金	1,848,000	1,855,000	△ 7,000	264名×7,000
年	会	費	1,730,000	1,730,000	0	10-20年卒まで12×40,000=480,000 21-51年卒まで24×50,000=1,200,000 9年まで、52年以降並に定時制50,000
雑	収	入	149	22,717	△ 22,568	利子
合		計	4,025,000	3,640,000	385,000	

支 出

(単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減(△)	備考
(運 営 費)	(1,020,000)	(980,000)	(40,000)	
会 議 費	120,000	100,000	20,000	役員会等
通信連絡費	70,000	50,000	20,000	郵便切手等
需 用 費	200,000	200,000	0	謝慶弔、転退職等餞別、消耗品等
人 件 費	630,000	630,000	0	学校人件費助成
(事業費)	(2,920,000)	(2,550,000)	(370,000)	
総会助成費	150,000	150,000	0	5 年度総会助成
一般事業費	1,200,000	1,840,000	△ 640,000	各支部総会、各学年会助成 マラソン大会助成、会報送料
卒業記念費	200,000	200,000	0	記念品代
表 彰 費	10,000	0	10,000	
会 報 費	300,000	300,000	0	第23号発行費
特別会計繰入	1,060,000	60,000	1,000,000	(同窓会名簿作成基金60,000 藩学創設三百年準備金1,000,000)
(予備費)	(85,000)	(110,000)	(\$\triangle 25,000)\$	
予 備 費	85,000	110,000	△ 25,000	
合 計	4,025,000	3,640,000	385,000	

### 米沢興讓館同窓会支部役員

表示與議館高校内 ☎0238/88/4/41 支 部 長 松野良寅 靈992 米沢市花沢町 1 -11- \$ ● 川西支部 連絡先 靈999-01 東置賜郡川西町上小松 29 - 9

副支部長 清水 澄、遠藤 拓

幹事長 川野 希

事務局長 小関 薫

東京支部 連絡先 〒111 台東区今戸1-15-3

磯貝合金㈱ ☎03-3875-8211

FAX03-3875-8213

支部 長 松田 敬

相談 役 佐藤純一郎・小幡常夫・青木 朗

副支部長 小森力雄・磯貝昌弘

監 事 宮原信一·猪口閉夫

●宮城支部 連絡先 靈983 仙台市宮城野区二十人町6

中條 仁 ☎022(291)5372

支部 長瀬川 耕

副支部長 中條 仁・白石善次郎・芳賀滋弥

幹 事 岩田清隆・相田音吉・林 一郎・小林令 岩田清隆・相田音吉・林 一郎・小林守 見・香坂昌紀・大武清夫・猪俣良市・御 支 部 長 高井朋次 **②**992-12 西置賜郡小国町市 供政師・本下和夫・熊坂 仁・山水 忍 も 野々389 **☎**0238(65)2006 鈴木利美・和田美和子・矢尾坂範子

青森支部 連絡先 5030-02青森市大野前田76-25 青森県立つくしが丘病院長 後藤 昭 **23**0177(39)1596

支部 長 後藤 昭

事務局長 後藤 昭

山形県庁教育委員会職員同窓会 連絡先 ®990 山形 & 課 鈴木常夫 ☎0236(30)2881

長 安田幸夫 5992 米沢市御廟 2-2-17

幹 事 長 鈴木常夫

監 事 鈴木正道·斎藤忠男

●置賜地区県職員同窓会 連絡先 5992 米沢市金池 東南置賜合同庁舎 20238(24)2311

長 小川 洋 南陽市漆山1846-1

**23**0238(47)2354

幹事長 佐藤総吉

●高畠支部 連絡先 毎992-03 東置賜郡高畠町大町3 大塚昌宏 20238(52)0314

●赤湯支部(桜興会)連絡先 5992-22 南陽市二色根 76の1 高橋順一 ☎0238(43)4716

支 部 長 渋谷幸一 ●999-22 南陽市三間通362 20238(43)2384

副支部長 高橋孝助・須藤清次

事務局長 高橋順一

●宮内支部 連絡先 5992-04 南陽市宮内3010-10 吉田文雄 20238(47)2706

支 部 長 佐藤 稔 5992-04 南陽市宮内3093 20238(47)2062

副支部長 中村二男・川合悌次郎

川西町役場総務課 猪狩文昭

**23**0238(42)2111

支 部 長 遠藤忠志 ●999-02 東置賜郡川西町尾 長島1211 20238(42)4121

◎ 副支部長 鈴木 弘

※ 監 事 船山昭司・嶋津憲英

章 幹事長 猪狩文昭 幹事長 猪狩文昭 事務局員 島貫啓一・後藤哲雄・大友勝治 ஓ ●長井西置賜支部 連絡先 5993 長井市館町北6番16 号 市民会館前 渡部秀一司法書士事務 所 20238(84)2368 F A X 0238(84)2373

支部長外田陽 1993 長井市栄町11-17

事務局長 渡部秀一

♣ ●小国支部 連絡先 5999-13 西置賜郡小国町小坂町 1 丁目16 渡部建築事務所 渡部君夫 20238(62)2412

副支部長 阿部 正・木村信夫

幹 事 長 渡部君夫

●関西支部

支 部 長 斎藤秀吉 - 569 大阪府高槻市天川町 43-13 20726(74)0104

副支部長 森谷政之助·山本三郎 幹 事 長 林崎孝陽

市緑町1丁目9-30 山形県教育庁文化 💡 事務局 連絡先 537 大阪市東成区東今里2-3 サン美術印刷物 1995 3 な06-976-0231 15-30 サン美術印刷(株) 勝見哲朗

支 部 長 高野健男 5990 山形市平清水75-9 ☎0236(22)1657

● 副支部長 高橋淳一・堤 孝雄

斎藤 真

· 幹事長 二瓶 功

副幹事長 船山光文·安部 敏 監 事 安藤隆夫·岩沼 甫

事 務 局 ■990 山形市緑町1-2-40

☎0236(42)2538

支 部 長 完戸昭夫 5992-11 米沢市間世町梓山 586-2 20238(28)3532

副支部長 桐沢安興

→ 事務局長 海藤 精

同窓会報編成委員

高野宏一 高野 譲 高野 実 小関 薫 木村琢美 平山茂夫 相田治孝 森 惇 小林 栄本間 精 岸 順一 樋口 隆

遠藤岩根 佐藤美枝子

## みなさんの年会費が、 同窓会を支えます。



### 事務局から一

- ※例年になかった今年の暑さですが、在校生諸君は、「暑いからこそ実る 暑いからこそ燃える」のスローガンのもとに部活動に夏期学習に青春のエネルギーを燃焼させています。我々同窓生も、このむずかしいといわれる時代をしっかり見据えて生きてゆきましょう。
- ※昭和17年卒の安藤文雄氏から、卒業50年の節目に、更に友情の絆を確かめあう、ことを合言葉に出版なさられた記念誌「うこぎ会」をみせていただいた。樋口実氏を中心に編集なさったというこの本は、肉筆のページも多く、とても暖かい感じ。剣持一男氏は巻頭言で「苦難に耐え、荊の道を切り拓き、戦後復興をめざして、それぞれの業に勤しんできた、激動の波また波をのり越えて…」と記されてます。先輩諸兄の御苦労に思いをいたすと同時に、それに価いする幸を、と願ったことです。

米沢興讓館同窓会事務局 ☎0238(38)4741

本校同窓会も新卒業年次の同窓会入会金および 会費前納分などの御配慮と、母校に関心をよせて くださる同窓生の善意のおかげで400万円を越える 予算を組むことができるようになりました。だん だん潤沢な予算が見込まれつつあることに事務局 一同うれしくおもっております。

しかしそれにしましても、会費の納入状況は、 まだまだ学年によるばらつきが大きいことも事実 です。もう一度、同窓会年会費の納入の方法を記 入してみます。なにとぞ同窓会活動の隆盛は会員 の皆様の支えにあることを認識下さいましてさら なるご協力の程、よろしくおねがいいたします。

### 同窓会費納入方法

- (1) 学年毎納入基準額(下欄)を示しています。 各学年理事の責任でこの分を納入してくださ い。
- (2) 同窓会事務局(学校内)あてに直接振込、あるいは納入して下さっても結構です。
- (3) 各学年集金分と直接学校へ納入分(すでに多年度分納入された方)を合計して、当該学年の基準を超えた分については、学年に還元します。
- \*なお、本会の会計年度は8月締めでありますが、 帳簿整理等につき7月末日まで納入下さいます ようお願いいたします。

### 

- \*昭和15年以前の学年は自主納入となります。
- \*昭和16年~20年後期(40,000円)
- \*昭和21年~54年(50,000円)
- \*昭和55年以降の学年は、自主納入になりますが学年理事を中心に、出来るだけ多くの方の年会費納入を促進して下さいますようお願いいたします。

esterte de esterte de chorto d